

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 香川漁連
高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

第32回高松地区乾のり品評会審査会開催

高松地区海苔養殖研究会（会長 青木 繁）主催の第32回高松地区乾のり品評会が1月18日高松市瀬戸内漁業センターで開催された。

当日は、審査員に県漁連の海苔検査員を招き、地区会員から出品された乾のり70点（7,000枚）が審査会場に並べられた中、厳正な審査が行われ、入賞が決定した。

入賞者は次のとおり。

第32回高松地区乾のり品評会受賞目録

賞名	受賞者	ブロック名
市長賞（団体賞）	香西漁業協同組合	
市長賞（個人賞）	大石 重男	香西
香川県農政水産部長賞	松本 孝章	下笠居
高松市議会議長賞	石田 政之	直島
香川県漁業協同組合連合会長賞	阿部 高広	香西
香川県海苔養殖研究会会長賞	小川 明司	屋島・女木・男木
(社)香川県振興協会会長賞	山城 功	直島
香川県信用漁業協同組合連合会長賞	津島 和博	香西
高松市漁業協同組合連絡協議会長賞	木場 利喜	屋島・女木・男木
高松地区海苔養殖研究会会長賞	明石 寛	香西
ブ ロ ッ ク 賞	竹内 義孝	高松市瀬戸内

平成16年/17年内生産状況

全国漁連のり事業推進協議会のまとめによると、平成16年11月～12月のノリ生産状況は、相次

ぐ台風などの影響で秋芽網の生産が7～10日ほど遅れ、さらには赤ぐされ病の発生で九州有明海では、秋芽網の早期撤去を余儀なくされた。12月に冷凍網の張り込みを行ったが、水温が高めに推移し全国的に赤ぐされ病が蔓延した。

この結果、12月末までの生産は、過去5ヵ年平均には達していないが、共販数量で19億900万枚（前年比130%）、共販金額は244億4,300万円（前年比117%）となり、前年を上回った。

一方、本県のノリ生産状況は、水温が平年より2度以上高い日が続いたため、赤ぐされ病などの影響を受け、12月末の共販枚数8,470万枚（前年比83%）、共販金額9億3,500万円（前年比75%）、平均単価11.04円（前年比1.08円安）となった。

年末から年明けにかけ、寒波襲来により水温は平年値近くまで下がり、栄養塩もここ数年では高い値で推移しており今後の生産が期待される。なお、1月27日の第5回共販までの累計は、共販枚数3億4,851万枚（前年比85%）、共販金額38億1,824万円（前年比83%）、平均単価10.95円（前年比0.34円安）となった。

平成15年漁業生産額

農水省は12月7日、平成15年の漁業生産額を発表した。それによると平成15年の生産額は1兆5,908億円となり、前年に比べ7.7%（1,320億円）減少した。生産額の減少は、平成10年以降6年連続となる。

海面漁業の生産額は、1兆372億円（前年比8.7%減）。このうち遠洋漁業は1,666億円（前年比8.1%減）、沖合漁業は3,692億円（前年比10.6%減）、沿岸漁業は5,009億円（前年比7.5%減）であった。

海面養殖業は4,476億円で6.5%減。ブリ類が1,225億円で価格上昇により7.9%増、マダイは516億円で価格低下により10.2%減。ノリ類は900億円で収穫量減少により20.2%減、カキ類は378億円で価格低下に加え収穫量も減少したため1%減であった。

一方、県内漁業生産額は中国四国農政局高松統計・情報センターのまとめによると、270億1,700万円（前年比10%減）で過去25年で最低となっ

た。海面漁業は100億1,500万円(前年比10%増)で、前年不漁だったイカナゴ、イカ類の生産額が回復した一方、マアジやカレイ、タイ類が振るわなかった。海面養殖業は170億200万円で、ノリ類は栄養塩が少なく早目に収穫を切り上げたため59億2,300万円となった。ブリ類は夏の赤潮の影響で81億700万円、マダイ(前年比54%減)ヒラメ(前年比56%減)も大幅に下げた。

新しい組合長紹介

(敬称略)

詫間漁協

新任 田島 貞彦
(平成16年12月22日)

退任 尾崎 兼義



「海で働く人」

仁尾町立仁尾中学校2年 薦田 幸希

「今日の海」

綾歌町立綾歌中学校3年 武田 容子

第24回全国豊かな海づくり大会記念
「海を愛する子供たちの作品展」
絵画・習字・作文入賞作品の紹介

香川県知事賞



「海に生きる家族」

坂出市立岩黒中学校1年 岩中 里美

香川県教育委員会教育長賞

一年 中山あい

宇多津町立宇多津北小学校1年

中山 愛

二年
ちはま

大西
かなほ

三年
らさわ

尾幡
穂乃香

香南町立香南小学校 2 年

大西 奏穂

高松市立川島小学校 3 年

尾幡 穂乃香

大会会長賞

小学校低学年の部

「ぼくのとうちゃん」

坂出市立櫃石小学校 1 年 伊勢 友貴

ぼくのとうちゃんは、そこびきりょうしというしごとをしています。いつもとれたてのさかなをおかずにもってかえってきます。とってもおいしいです。

そこびきというのは、あみをおとしてゆっくり、なんじかんかこぎます。それから、あみをねっとでまきあげていきます。そのあとあみにはいったさかなを、しゅるいごとにきれいにならべます。これをなんかいもくりかえし、さかながふねのなかいっぱいになったら、しもついのいちばにうりにいくそうです。

ぼくも、とうちゃんのふねにのって、いっしょに

いったことがあります。がっこうからいそいでかえり、ついていきました。

「とうちゃん。きょうは、つれていってくれるんやろ」

「おー。ついてこい」

「おそくなるけど、おきとれよ」

まずは、みなとでふねにこおりをつみました。よいしょ。よいしょ。おもいです。つぎに、ふねにあぶらをいれます。これはかんたんです。ぼたんひとつです。ぼん。

いよいよしゅっぱつです。おきにでるころには、もうくらかったです。ふねにのってからのぼくのしごとは、あみをおろすことと、まきあげることです。すいっちをおすと、じどうてきに、あみがまきあがります。

「ともき。あみをあげる」

「うん。とうちゃん」

ごーごーごー。あみがあがってきます。

「うあっ。とうちゃんたくさんとれたな」

「おー。たいりょうじゃ」

とうちゃんは、ふねをそうじゅうしながら、ぼくにこえをかけてくれます。どのあたりでさかながよくいるのかも知っています。すごいです。

「ともき。きょうはかあちゃんにじまんできるな」

「うん。おかずもいっぱいやで」

ぼくは、すこしねむかったけど、たくさんとれてうれしいのと、とうちゃんといっしょにりょうができたのがうれしくて、さいごまでがんばれました。

とうちゃんは、りょうしのプロです。さかなのことなら、なんでも知っています。ひとりでなんでもできます。そんなとうちゃんをぼくは、そんけいしています。

いつもは、かえってくるのがよなかの 3 じごろになるとうちゃん。ぼくは、ねているのでしりません。たいへんだけど、がんばっているとうちゃん。いつかぼくも、そんなとうちゃんみたいなりょうしになりたいです。

主な行事予定 (2/1~2/28)

2月4日(金) 北方領土返還啓発キャンペーン
(ゆめタウン高松)

11日(金) 第6回海苔共販

25日(金) 第7回海苔共販



香川県リサイクル製品に認定！！

香川県認定リサイクル製品

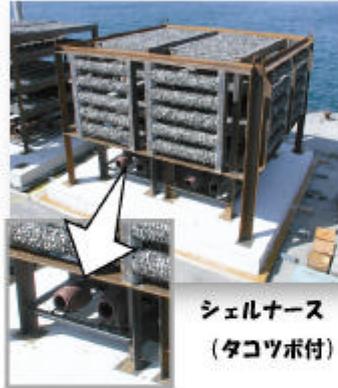
リサイクルの価値
環境創造型魚礁

シェルナース

資源を増やすために漁業者自らが豊かな漁場づくりに貢献することが求められており、また再生資源の利用促進に関する法律も制定され、漁業系廃棄物のリサイクルに対する関心が高まってきております。廃棄貝殻を有効利用した魚礁『シェルナース』は各府県、市町の増殖場・藻場造成事業に多く採用されており、県内では平成9年度から現在448基ものシェルナースが沈設され、その成果が大いに期待されています。今回は皆様に改めて貝殻魚礁『シェルナース』についてご紹介いたします。

シェルナースとは？

構造は、カキ・ホタテなどの貝殻をメッシュ状のパイプに詰めた「餌料生物培養基質」をパネル状に組合わせて、鉄棒やコンクリート枠に取り付けたものであり、目的に合わせた形状に製作可能です。



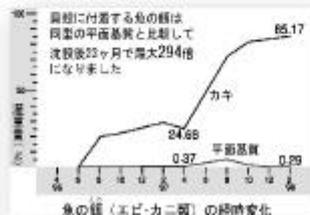
シェルナース
(タコツボ付)

優れた増殖機能

貝殻の創り出す大小様々な空間は、エビやカニなどの魚の餌生物にとって良好な生息場となっています。その結果としてシェルナースには多くの魚が集まります。



魚の餌



詫間町箱地先の例



シェルナース内部に集まるメバル
(坂出市松山地先)

漁業者が基質を製作

基質製作では、漁業関係者の手によって行なわれ、漁業者自らが豊かな海づくりに貢献しています。



鶴羽漁協

香川県リサイクル製品に認定！！

昨年12月に香川県庁において香川県認定リサイクル製品の授与式が行われ、そこでシェルナースが新たに香川県のリサイクル製品として認定を受けました。シェルナースはこれまでに岡山県、広島県においても同様の製品として認定、登録されており、各地において環境に配慮したリサイクル製品として定着しつつあります。



授与式



シェルナース基質の展示

☆ 香川県認定リサイクル製品とは？

香川県内で発生する循環資源(廃棄物のうち有用なもの)を使用し、県内で製造加工され、販売されているリサイクル製品です。

☆ 認定されると？

それぞれ「香川県認定環境配慮モデル事業所」「香川県認定リサイクル製品」であることを表示することができます。県において、普及啓発が行われ、その利用を推進されるとともに、認定製品については率先して使用されるように配慮されます。

お問合せ先

JF香川漁連 購買事業部 資材課
TEL (087) 825-0352 FAX (087) 826-2863

開発・製造

海洋建設株式会社
TEL (086) 473-5508 FAX (086) 473-5574
ホームページ <http://www.kaiyoh.co.jp>